

宇管工が実習資材を寄贈

12/2
日工経

宇工生の技術研鑽に寄与

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は10日、県立宇都宮工業高校に建築配管技能検定などの実習用資材約50万円相当を寄贈した。和田理事長、川中子武保専務理事らが訪れ、

に輝いた石井悠貴さんをはじめとした生徒3人が見守る中で菅野光広校長に資材を手渡した。寄贈は今年で9回目となる。宇管工では、高校生の技能向上を図るため管材や管継手など実習用資材一式を

寄付。資材は2、3級技能試験を受験する生徒や技能五輪に挑戦する生徒の実習で利用。今年は2級を2年生3人、3級を2年生約10人が受験。また2年生2人が技能五輪のため2、3級の課題を練習し東京大会を目指す。



和田会長が資材を手渡した